

小規模企業向け Cisco Unified Communications 500 シリーズ

シスコ ユニファイド コミュニケーション ソリューションは、固定ネットワークとモバイル ネットワークにおける音声、ビデオ、データ、およびモバイルなどのアプリケーション統合を可能にし、企業や政府機関といった組織の業務環境でのメディア リッチなコラボレーションを実現します。これらのアプリケーションはネットワークをプラットフォームとして使用し、意思決定を迅速化してトランザクション時間を短縮することで、企業の優位性を高めます。セキュリティ、耐障害性、およびスケーラビリティに優れたネットワークによって、ユーザはどのような業務環境であっても、場所や時間、使用するメディア、デバイス、オペレーティング システムなどの制約を受けることなくネットワークに接続できるようになります。シスコ ユニファイド コミュニケーションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、無線、管理アプリケーション、ライフサイクル サービス、柔軟な導入とアウトソーシングに対応した管理オプション、およびサードパーティ アプリケーションを含む総合ソリューションです。

シスコでは、顧客の維持と顧客対応力向上を目指す小規模企業向けに、Cisco Smart Business Communications System を導入しました。この新しい、コスト効果の高いシステムを利用すると、いつでもどこからでも安全に情報にアクセスできるようになり、顧客や社員間でのコミュニケーションの効率化と円滑化を図ることができます。

製品概要

小規模企業向けの Cisco Unified Communications 500 シリーズは、Cisco Smart Business Communications System を構成する重要な製品の 1 つで、小規模企業向けのユニファイド コミュニケーション アプライアンスとして、音声、データ、ボイスメール、自動応答、ビデオ、セキュリティ、およびワイヤレスの各機能を備えています。また、カレンダー、E メール、Customer Relationship Management (CRM) プログラムなどの既存のデスクトップ アプリケーションと統合することもできます。このプラットフォームは管理が容易で、ビジネスクラスの定評あるユニファイド コミュニケーション テクノロジーを使用しており、最大 48 ユーザまでをサポートします。また、Cisco Unified IP Phone、ISDN (公衆 ISDN 交換電話網) インターフェイス、およびインターネット接続などを、お客様のニーズに合わせてさまざまな組み合わせで利用できます (図 1)。

図 1 Cisco Unified Communications 500 シリーズ — 8/16 ユーザ構成



図 2 Cisco Unified Communications 500 シリーズ — 24/32/48 ユーザ構成



Cisco Unified Communications 500 シリーズの主要コンポーネントは、次のとおりです。

- Cisco Unified IP Phone — ワイヤレス IP 電話を含む
- Cisco Unified Communications Manager Express — 呼処理
- Cisco Unity[®] Express — ボイス メッセージングおよび自動音声応答
- Cisco Unified CallConnectors のサポート — Windows PC アプリケーションとの統合に対応
- LAN スイッチ — Power over Ethernet (PoE) スイッチ内蔵。Cisco Catalyst[®] Express 520 シリーズ スイッチを使用して拡張可能
- ファイアウォールおよび VPN 機能
- 一部のモデルでワイヤレス LAN (WLAN) 機能を搭載可能。外付けアクセス ポイントおよび Cisco Wireless LAN Controller モジュールにも対応
- Cisco Configuration Assistant — GUI ベースの管理および設定ツール
- オプションのリモート システム モニタリング機能

Cisco Unified IP Phone

シスコでは、音声およびデータの統合ネットワークをフルに活用する Cisco Unified IP Phone およびコミュニケーション デバイスを幅広く提供しています。これらのデバイスを利用すると、便利で使いやすいビジネス フォン環境を実現できます。Cisco Unified IP Phone は、企業内のさまざまなユーザのニーズに対応できるため、生産性の向上に役立ちます。

Cisco Unified IP Phone 製品は、次の機能を備えています。

- 各種コール機能用のソフトキーを含む、液晶ディスプレイ
- 各種情報サービスのサポート (IP フォン システムを拡張する XML 機能を含む) により、株式市場、従業員の電話帳、Web ベースのコンテンツなどの情報に IP フォンからアクセス可能

Cisco Unified IP Phone は IP コミュニケーション デバイス市場を代表する製品で、優れた操作性、音声品質、障害者向けに改善されたアクセシビリティ、人間工学に基づいたデザイン、高度なサービス、および各種機能に対応しています。

Cisco Unified IP Phone 製品は、会社のロビー、製造現場、重役室、自宅、出張先、またはブランチ オフィスなど、ユーザがどこにいても使用できるさまざまなモデルを備えています (図 3)。

図 3 Cisco Unified IP Phone 製品



Cisco Unified Communications Manager Express

Cisco Unified Communications Manager Express は Cisco Unified Communications 500 シリーズで稼働する Cisco IOS[®] ソフトウェア ソリューションに組み込まれており、Cisco Unified IP Phone の呼処理を実行します。導入、管理、およびメンテナンスが容易な Cisco Unified Communications Express は、信頼性が高く、機能の豊富なテレフォニー ソリューションを実現します。

Cisco Unity Express

組み込み型の Cisco Unity Express では、ボイスメール、デスクトップ メッセージング、および自動応答サービスが利用できます。これらは、顧客サービスの向上や社員間のコミュニケーションの円滑化に役立ちます。

Cisco Unified CallConnectors (Windows PC アプリケーション向け)

Cisco Unified Communications 500 シリーズは、一般的な Windows デスクトップ アプリケーションと統合できるため、これまでは大企業でしか実現できなかった業務の効率化が小規模企業でも実現できるようになります。Cisco Unified CallConnectors を使用すると、ユーザは Cisco Unified IP Phone と一般的なアプリケーション (Microsoft Outlook、Internet Explorer、Microsoft Dynamics CRM、または Salesforce.com CRM など) を統合できます。

LAN スイッチングおよびルーティング

Cisco Unified Communications 500 シリーズには、Cisco Smart Business Communications System に最適な 8 ポートの 10/100 PoE (給電タイプ) ポートを備えたマネージド イーサネット スイッチが搭載されています。また、Cisco Catalyst Express 520 シリーズ スイッチを接続して、システムの容量を拡張することもできます。Cisco Catalyst Express 520 スイッチは 8 ポートまたは 24 ポートの 10/100 PoE ポートを備え、Cisco Unified Communications 500 シリーズに簡単に接続できるように、あらかじめソフトウェアを設定したうえで出荷されます。Cisco Unified

Communications 500 シリーズではスタティック ルーティングがサポートされるとともに、VLAN および組み込みインターフェイス間でのルーティングにも対応しています。

ファイアウォールによるネットワーク セキュリティ

セキュリティは、ネットワークに不可欠な要素です。シスコ製品は、アクセス エッジにセキュリティを組み込む重要な役割を担っています。Cisco IOS ファイアウォールは、Cisco Unified Communications 500 シリーズで使用できるステートフル インспекション ファイアウォールです。Cisco IOS ファイアウォールは市場をリードする Cisco PIX[®] ファイアウォール テクノロジーをベースに構築されており、Cisco Unified Communications 500 シリーズ プラットフォームの基本機能として動作します。Cisco IOS ファイアウォールは、WAN のエントリポイントの保護に最適な機能を提供します。

VPN

Virtual Private Network (VPN; バーチャル プライベート ネットワーク)を使用すると、パブリック ネットワークを介して機密データを伝送できるため、ユーザへのリモート アクセスを共有インフラストラクチャを介して拡張できます。VPN はプライベート ネットワークと同じセキュリティおよび管理ポリシーを維持しながら、リモート ユーザと中央ネットワーク間のポイントツーポイント接続を確立できる、費用対効果の高いテクノロジーです。VPN を利用したネットワーク接続が急速に普及してきたため、シスコでは新たなレベルの VPN 機能を取り入れて、シスコ ユニファイド コミュニケーション製品の基本機能として提供しています。Cisco Unified Communications 500 シリーズには、ハードウェア ベースの暗号化アクセラレータが搭載されています。この機能は、IPSec、Advanced Encryption Standard (AES)、Data Encryption Standard (DES)、および 3DES 暗号化と VPN プロセスをオフロードすることで、Cisco Unified Communications 500 シリーズ プラットフォームの VPN スループットを向上させます。

ワイヤレス モビリティ サービス

8 ユーザおよび 16 ユーザ モデルの Cisco Unified Communications 500 シリーズは、セキュアな WLAN 接続を提供する内蔵型の WLAN アクセス ポイントをオプションでサポートしています。Cisco Unified Communications 500 シリーズは Cisco Smart Business Communications System の構成要素であり、外付けアクセス ポイントの Cisco 521 Wireless Express アクセス ポイントもサポートしています。また、クラス最高水準のワイヤレス モビリティを実現するために、Cisco 526 Wireless Express モビリティ コントローラを追加搭載してアクセス ポイントをサポートする統合システムを構築することもできます。そのため、小規模企業はデータ アプリケーションへのアクセスや WLAN テレフォニーを簡単に拡張できます。ワイヤレス サービスを使用すると、社員、パートナー、および顧客のモビリティが大幅に向上し、その結果、生産性も向上します。

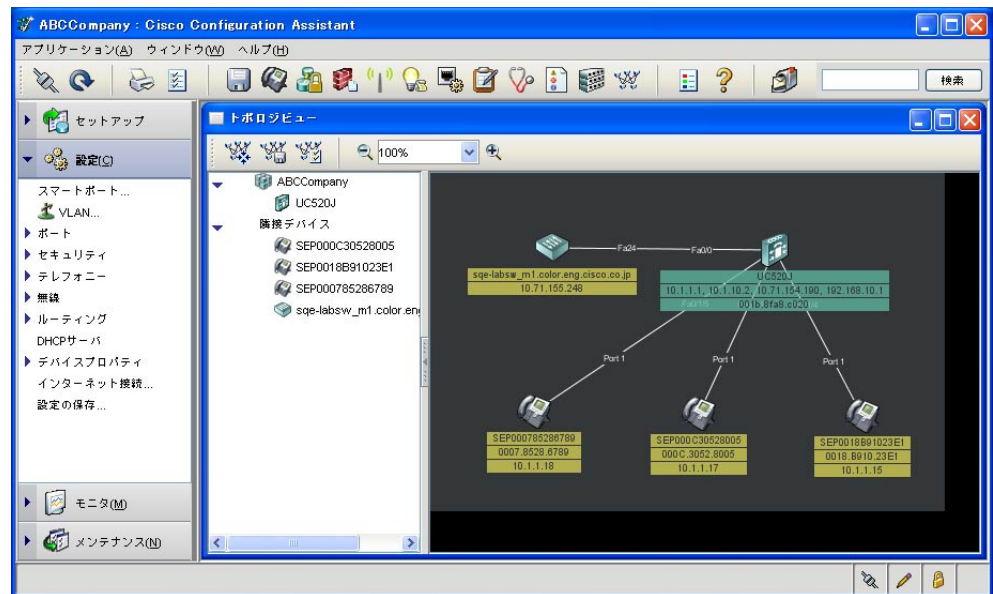
注: 24 ユーザ、32 ユーザ、および 48 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズは、オプションの内蔵型 WLAN アクセス ポイントをサポートしていません。これらのモデルで WLAN 機能を利用するには、Cisco 521 Wireless Express アクセス ポイントおよび Cisco 526 Wireless Express モビリティ コントローラを使用します。

Cisco Configuration Assistant

Cisco Configuration Assistant は PC ベースのわかりやすい GUI 設定ツールで、Cisco Smart Business Communications System の重要なコンポーネントです。使いやすさを重視して設計された Cisco Configuration Assistant を使用すると、ユニファイド コミュニケーション、スイッチング、ルーティング、セキュリティ、およびワイヤレスなどの複数のテクノロジーを容易に設定できます。ま

た、テレフォニーの設定変更についてのフォローアップ サポートも提供されます。Cisco Configuration Assistant には、インタラクティブなトポロジ ビュー、デバイスの前面パネル ビュー、ドラッグ & ドロップによる Cisco IOS ソフトウェアのアップグレードなどの機能があります(図 4)。

図 4 Cisco Configuration Assistant 設定ツール



アーキテクチャの機能と利点

Cisco Unified Communications 500 シリーズは、音声、データ、ビデオ、セキュリティ、ワイヤレス、および管理を 1 つのプラットフォームに統合します。Cisco Unified Communications 500 シリーズは、設定、導入、および管理が容易なシンプルでコスト効率の高いソリューションで、小規模な企業でのユニファイド コミュニケーションの実現を可能にします。Cisco Unified Communications 500 シリーズでは、呼制御、メッセージング、およびモビリティの機能が 1 つのデバイスに統合されています。そのため、複数のサーバにかかる追加コストが不要になり、設定と管理が容易で低価格のソリューションを実現できます。

表 1 に、Cisco Unified Communications 500 シリーズの機能と利点を示します。

表 1 プラットフォームの機能と利点

機能	利点
ソリューション パッケージ	<p>ソリューションはオールインワン パッケージで提供されるため、導入がスムーズです。</p> <p>各構成には呼処理、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用の適切な数のフィチャー ライセンスが含まれているため、製品モデル構成がシンプルです。</p> <p>ほとんどの製品モデルでモジュラ スロットを使用できるため、PSTN インターフェイスやアナログ ステーション インターフェイスなどを追加してシステムを拡張できます。</p> <p>各製品モデルには、適切な数の固定 Digital Signal Processor (DSP; デジタル信号プロセッサ) が付属しています。</p>
デフォルトのシステム構成	<p>さまざまな設定で使用できるようにパッケージ化されていますが、工場であらかじめ定義された Cisco Smart Assist の設定が内蔵されているため、現場での導入がスムーズです。</p> <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ割り当てられた内線番号 音声およびデータ VLAN ファイアウォール設定 <p>適切なライセンスを持つベース プラットフォームを元に、システムを簡単に拡張できます (Cisco Catalyst Express 520 拡張スイッチを接続し、電話機を PoE イーサネット ポートに接続)。</p>

機能	利点
ボイスメールおよび自動音声応答機能の統合	<p>小規模企業のお客様は、内蔵された自動音声応答機能と高度なボイスメール機能を活用することにより、スタッフの専門レベル、生産性、および顧客サービスを向上できます。</p> <p>専門的な自動音声応答機能により、すべてのコールを 24 時間体制で効率的かつ確実に処理できます。発信者が呼び出そうとしているグループまたは個人の内線番号に基づいてコールを転送できます。また、特定の内線番号がわからない場合に、名前によるダイヤルを利用することもできます。</p> <p>従業員が電話機からいつでもボイス メッセージにアクセスできるようにすることで、企業の実産性を向上。通話中または無人の電話機にかかってきた内部および外部のコールをユーザのボイスメール ボックスに転送し、個人ごとに設定された案内メッセージで応答できます。</p> <p>メッセージング機能の統合により、Internet Mail Access Protocol (IMAP)E メール クライアント (Microsoft Outlook、Outlook Express、または Lotus Notes など)を使用して各自のボイスメールを確認できます。また、Cisco Unified IP Phone の XML 対応ディスプレイからボイスメール機能にアクセスすることもできます。</p>
QoS (Quality of Service) に対応したイーサネット接続	<p>Cisco Unified IP Phone やワイヤレス アクセス ポイントには PoE ポートによるイーサネット接続が提供されるため、電源モジュールを追加することなく、100BASE-T までのイーサネット接続が利用できます。ほとんどの Cisco Unified IP Phone には、QoS に対応した 10/100 スイッチまたは 100/1000 スイッチが組み込まれているため、デスクトップ PC をネットワークに接続できます。</p> <p>QoS は Cisco Unified IP Phone とデスクトップの構成向けに最適化されており、QoS レベルの設定により、Voice over IP (VoIP) トラフィックが優先されます。</p> <p>音声トラフィックとデータトラフィックで独立した VLAN を使用します。</p> <p>ネットワークへの不正なアクセスを制限するためのポート セキュリティを提供します。</p>
事前に録音された発信者向けアナウンスメント: 保留音	<p>専用の保留音入力ポートが装備されているため、カスタマイズした保留音を容易に提供できます。小規模企業の経営者は音源を 3.5 mm のミニジャックに接続するだけで、事前に録音されたアナウンスメントを発信者に対して再生できます。</p> <p>フラッシュ メモリに保存された wave ファイルを使用することもできます。</p> <p>保留音はオーディオ ストリームで、着信側が保留にしたときに PSTN および VoIP G.711/G.729 の発信者に対して再生され、発信者は着信側に接続されていることを確認できます。</p>
導入オプション	<p>Cisco Unified Communications 500 シリーズは、構成に応じて、デスクトップでの使用、壁面取り付け (8 ユーザ版と 16 ユーザ版のみ)、または標準の 19 インチ ラックへの設置 (8 ユーザ版と 16 ユーザ版はオプションのラックマウント キットを使用) が可能です。</p>

シスコ ユニファイド コミュニケーションの機能

IP テレフォニーは驚異的な勢いで普及しています。これは、IP テレフォニーでしか実現できない魅力的な付加価値機能やアプリケーションがあるためです。また、データ、音声、およびビデオを 1 つのネットワークに統合することによるコスト上のメリットも、このテクノロジーの急速な普及に拍車をかけています。さらに、IP テレフォニー機能を単一のシステムに統合する小規模企業向け Cisco Unified Communications 500 シリーズには、次のような利点があります。

- 小規模オフィスのすべてのニーズに対応した音声/データ統合プラットフォームによるコスト効果の高い運用** — Cisco Unified Communications 500 シリーズの信頼性の高いプラットフォームは、強力な QoS、適切なセキュリティ、暗号化、およびファイアウォールを備えているため、小規模企業のニーズに合った拡張 VPN サービスが利用できます。IP テレフォニー、ボイスメール、自動応答などの機能を統合することで、お客様は、1 台のデバイスだけですべてのビジネスニーズに対応できるため、管理、メンテナンス、および運用が簡素化され、総所有コスト (TCO) が削減できます。
- 高度なボタン電話機能と PBX (構内交換機) 機能のサポート** — 小規模企業向けのシステムでは、それぞれの業務形態に合わせた機能をサポートする必要があります。Cisco Unified Communications 500 シリーズは、小規模オフィスに適したテレフォニー機能のほかに、XML を使用した独自の付加価値機能を提供します。従来のシステムでは利用できなかったこれらの機能を使用することで、エンド ユーザおよび企業の実産性が向上します。
- リモート メンテナンスとトラブルシューティング** — Cisco Unified Communications 500 シリーズの設定および管理には、専用の設定ツールである Cisco Configuration Assistant が使用できます。

Cisco Unified Communications 500 シリーズは、Cisco Unified Communications Manager Express 4.2 および Cisco Unity Express 2.3 で利用可能な機能を提供します。

表 2 に、ユニファイド コミュニケーションの機能を示します。

表 2 小規模企業向け Cisco Unified Communications 500 シリーズの機能

機能	説明
エンド ユーザ向け電話機能	<ul style="list-style-type: none"> • 複数回線着信表示 • Cisco Unified IP Phone Expansion Module 7914 を使用したコンソール機能または PC ベースのコンソール • 高速転送 • 通話中ランプ フィールド • サイレント呼び出し • 発信コールの自動回線選択 • 通話中/不在時/すべてのコール転送 • コール転送時にすべてを限定制御 • 着信拒否 (DND) • DND 設定による機能呼び出し • Cisco Unified IP Phone ディスプレイによる DND ステートの表示 • SIP Phone のダイヤル プラン パターン ロード • コールのボイスメールへの直接転送 • ソフトキーのカスタマイズ • 回線ごとのコール ウェイティング通知のイネーブル/ディセーブル • オーバーレイ Directory Number (DN; ディレクトリ番号)によるコール ウェイティング • コール ウェイティング呼び出し • ヘッドセットによる自動応答 • アナログ PSTN トランクでのフック フラッシュ パススルー • アイドル URL (Cisco Unified IP Phone にメッセージまたはグラフィックを定期的に表示) • リダイヤル • ローカル名ディレクトリの検索 • オンフック ダイヤル • Cisco Unified IP Phone からのステーション短縮ダイヤル設定の変更 • 10,000 件のシステム短縮ダイヤル • サイレントおよび機能呼び出しオプション • SIP ベースの Cisco Unified IP Phone の登録、電話機のステータスの基本的なプレゼンスを表示 • ソフトキーまたはフィーチャ アクセス コードを使用したアクセス機能 • 在宅勤務時のリモートからの Cisco Unified IP Phone の利用をサポート • ダイナミック ハント グループの受信登録または解除 • H.323、Skinny Client Control Protocol (SCCP)、および SIP を使用した FXS ポート上のファックス機をサポート (日本国内においては、サポートされません) • Cisco Unified IP Phone ディスプレイでの XML アプリケーション サービス • Cisco Unified Video Advantage または Cisco Unified IP Phone 7985G エンドポイントを使用した端末間ビデオ テレフォニー
PSTN のインターフェイスと機能	<ul style="list-style-type: none"> • アナログ Foreign Exchange Office (FXO) (ループ スタートおよびグラウンド スタート) • Cisco IOS ソフトウェアで現在サポートされているスイッチ タイプによる Basic Rate Interface (BRI; 基本インターフェイス) のサポート • T1/E1 対応の PSTN 接続 • 発信者 ID の番号通知 (日本においては BRI と T1 のみ) • Automatic Number Identification (ANI; 自動番号識別) • Direct Inward Dialing (DID; ダイヤルイン) (日本においては、BRI と T1 のみ) • ダイヤルアウト • 電話機のボタンへの専用トランクのマッピング
システムの通話機能	<ul style="list-style-type: none"> • アカウント コードおよび Call Detail Record (CDR; コール詳細レコード) フィールドのエントリ • 通話中の場合のコール バック/キャンブオン • 電話機ごとのコール カバレッジ ルール • コールの保留/復帰

機能	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • コール バーク(個人番号および転送先) • コール バークの再呼び出し • 内線へのコール バークの割り当て • 特定の内線番号への着信コールのピックアップ • ローカル グループへの着信コールのピックアップ • 特定のグループへの着信コールのピックアップ • 通話転送(コンサルテーションおよびブラインド) • コール ウェイティング • 8 名までの緊急会議 • Cisco IOS Software Telephony Services Provider (TSP) を使用する Microsoft Dynamics CRM、Outlook、または Salesforce.com CRM による Computer Telephony Integration (CTI; コンピュータ/テレフォニー インテグレーション) • XML を使用したディレクトリ サービス • ハントグループ — 順次/循環/最長アイドル時間 • ハントグループのダイナミック ログイン/ログアウト • ハントグループの統計情報(日単位および時間単位) • インターコム • 保留音(内線または外線) • 夜間サービス ベルまたはコール転送 • 通話範囲を拡張するための内線のオーバーレイ • 内線のオーバーレイに対応する呼び出し先の名前表示 • ページング(Cisco Unified IP Phone 経由の内部宛または外部システム宛) • コール単位の発信者 ID ブロッキング • セカンダリ ダイヤルトーン • XML サービスを使用したシステム短縮ダイヤル オプション • 時間/曜日別のコール ブロッキング • カスタマイズ可能な呼び出し先の名前表示 • 自動応答とコール統計を使用した Basic Automatic Call Distributor (B-ACD) (3 キュー) • Cisco Unified IP Phone のキュー内コールの番号表示 • B-ACD ハント グループのエージェント ログイン/ログアウト • Secure Voice IP Phone Certificate Authentication およびプロビジョニング、Transport Layer Security (TLS) による Secure Device Signaling • Cisco Unified Communications Manager Express の機能の詳細は、以下の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/ip/go/cme/
ボイス メッセージング	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Express によるボイスメールと自動応答機能の統合ソリューション • 完全かつ簡潔な Telephony User Interface (TUI) のチュートリアル — メールボックスの設定プロセスを段階的に説明することで管理者のサポートを最低限にし、時間とコストを節約 • 一般的に使用される広範なボイスメール機能 • 包括的なボイスメール フィーチャ セット — メッセージの返信、転送、保存、メッセージ タギング(プライバシーまたは緊急)、代替グリーティング、一時停止、早送り、巻き戻し、エンベロープ情報 • ネットワーキング — 他のシスコ メッセージング プラットフォームと通信するための Voice Profile for Internet Mail (VPIM) プロトコル • 配信リストとブロードキャスト メッセージ • パブリックおよびプライベートの配信リスト機能とブロードキャスト メッセージング機能 • 総合対応メールボックス (GDM) • 指定されたチーム メンバー用の複数の GDM ボイスメール ボックス • 誤って削除されたメッセージをサブスクライバが復旧する機能 • シスコの他の音声メッセージング製品とユーザ インターフェイス、メニュー構造、およびコマンドを共有する機能 • 個人用オペレータ — 「ゼロ設定」オプションで設定可能な代替電話番号(ボイス メールボックス単位) • Microsoft Outlook、Outlook Express、または Lotus Notes との IMAP 統合によるボイスメール アクセス • Cisco Unified IP Phone での Cisco Unity Express VoiceView Express XML アプリケーションによるボイスメールの利用とメールボックスの設定 • ボイスメール機能の詳細は、以下の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/ip/go/unex/

機能	説明
自動応答	<ul style="list-style-type: none"> システムごとに最大 5 つの自動応答 名前によるダイヤル、内線番号によるダイヤルの標準自動応答 休日スケジュールとカレンダー 営業時間スケジュール スクリプト エディタ — カスタマイズされた自動応答メニュー フローを作成するグラフィカルなスクリプト作成ツール 時間/曜日別のルーティングをサポート メニュー項目とネストの数は無制限 テレフォニーによる管理 電話機またはコンピュータから自動応答プロンプトを録音可能 ブロードキャスト メッセージの作成および管理機能 リモート ユーザによる音声ユーザ名を録音可能 緊急時用の代替グリーティング — 雪や休暇などによるスケジュールの一時的変更を発信者に通知 自動応答機能の詳細は、以下の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/jp/go/unex/
設定および管理	<ul style="list-style-type: none"> システムを起動後すぐに使用できるように、電話や PSTN 回線の接続があらかじめ設定されています。 内線番号およびボイスメール ボックスの電話機への自動割り当てにより、電話機を簡単に導入および追加できます。 内線番号の割り当て担当者は、シンプルでわかりやすい音声プロンプトを使用して電話機の配置を変更できます。 GUI ベースの Cisco Configuration Assistant によるシステムの設定(カスタマイズや管理を含む) Cisco Unified Operations Manager またはサードパーティ製の管理コンソールによる Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) のサポート Cisco Configuration Assistant の詳細は、以下の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/jp/go/configassist Cisco Monitor Director および Cisco Monitor Manager の詳細は、以下の URL を参照してください。 http://www.cisco.com/jp/go/sbnm/

ファイアウォール: 機能と利点

セキュリティは、Cisco Unified Communications 500 シリーズに不可欠な要素です。表 3 に、セキュリティ機能の概要を示します。

表 3 セキュアなネットワークの機能と利点

機能	利点
Cisco IOS ファイアウォール	高度なセキュリティとポリシーが適用されます。ステートフルでアプリケーション ベースのフィルタリング (Context-Based Access Control [CBAC; コンテキストベース アクセス コントロール]、ユーザごとの認証と許可、リアルタイムのアラート、およびトランスパレント ファイアウォールなどの機能を実現します。
Cisco Easy VPN リモートおよびサーバ サポート	単一のヘッドエンドからリモート サイトに対して新たなセキュリティ ポリシーを能動的に適用し、ポイントツーポイント VPN の管理を容易にします。
統合スイッチングにおける標準的な 802.1X のサポート	標準的な 802.1X アプリケーションでは有効なアクセス証明書が要求されるため、保護された情報リソースへの不正アクセスやセキュリティ保護されていないワイヤレス アクセス ポイントの使用が困難になります。
Network Address Translation (NAT; ネットワークアドレス変換)	グローバル IP アドレスの割り当てや管理を簡素化し、それに伴うコストを抑制します。 1 つの登録済み IP アドレスで LAN インフラストラクチャ全体のすべてのユーザをサポートできます。

ワイヤレス サポートの機能と利点

8 ユーザおよび 16 ユーザ モデルの Cisco Unified Communications 500 シリーズは、セキュアな WLAN 接続を提供する WLAN アクセス ポイントを内蔵しています。また、Cisco Unified Communications 500 シリーズは Mobility Express 製品群に含まれており、外付けの Cisco 521 ワイヤレス アクセス ポイントおよび Cisco 526 Wireless Express モビリティ コントローラをサポート

トしています。Mobility Express の詳細は、以下の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/jp/go/mobilityexpress/>

表 4 に、ワイヤレス機能の概要を示します。

表 4 ワイヤレスの機能と利点

機能	利点
WLAN 接続	802.11b/g 内蔵アクセス ポイント(8 ユーザおよび 16 ユーザの Cisco Unified Communications 500 シリーズ モデルのみ対応)を使用すると、音声とデータを統合した WLAN 接続をモバイル クライアントに提供できるため、モビリティの実現と生産性が向上します。 Cisco Unified Communications 500 シリーズに内蔵された 802.11b/g アクセス ポイントでは、最大 54 Mbps の接続をサポートします。 コードレスの WLAN IP Phone を使用すると、ユーザは移動可能になり、生産性が向上します。
セキュリティの強化	802.1X と Cisco LEAP、Protected Extensible Authentication Protocol (PEAP)、ダイナミック Wired Equivalent Privacy (WEP)、またはスタティック WEP による認証など、Wi-Fi Protected Access (WPA および WPA2) のサポートによりセキュリティを強化します。 WLAN VLAN および 802.1q/e をサポートします(これらの機能はキューイングによって音声/ビデオトラフィックに優先順位を付けます)。 社員とゲスト ユーザの WLAN アクセスを異なる VLAN に分離します。

まとめ

小規模企業向け Cisco Unified Communications 500 シリーズは、サイトあたりの従業員数が 8 ~ 48 人規模の企業向けに設計された、シンプルで経済的なソリューションです。Cisco Unified Communications 500 シリーズは、単体のプラットフォームにビジネスクラスの定評あるユニファイド コミュニケーション テクノロジー(音声、データ、ビデオ、セキュリティ、およびワイヤレス)を搭載しています。また、Microsoft Outlook、Outlook Express、IBM Lotus Notes、および CRM ソフトウェアなどの一般的に使用されるデスクトップ アプリケーションとの統合も容易です。自動応答、ボイス メール、PSTN 接続、インターネット接続、およびアナログ電話機のサポートなどの機能を備えています。PoE ポートでは、各種の Cisco Unified IP Phone がサポートされています。Cisco Unified Communications 500 シリーズ ソリューションを利用すると、音声、ビデオ、およびデータに対応したオフィス ネットワークを構築できます。また、出張先や自宅オフィスから企業のオーナーや社員がオフィスに安全に接続することも可能です。

製品のハードウェア仕様

表 5 に、Cisco Unified Communications 500 シリーズの仕様を示します。

表 5 Cisco Unified Communications 500 シリーズの仕様

Cisco Unified Communications 500 シリーズ	8 ユーザおよび 16 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ	24 ユーザ、32 ユーザ、および 48 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ
パッケージ タイプ	デスクトップまたは壁面	ラックマウント
製品アーキテクチャ		
DRAM	<ul style="list-style-type: none"> Cisco IOS ソフトウェア: 256 MB ボイス メッセージング: 512 MB 	
コンパクト フラッシュ メモリ	<ul style="list-style-type: none"> Cisco IOS ソフトウェア: 128 MB ボイス メッセージング: 内蔵 1 GB 	
オンボード イーサネット ポート	<ul style="list-style-type: none"> 10/100 Mbps PoE (給電タイプ) × 8 10/100 WAN アップリンク × 1 10/100 イーサネット拡張ポート × 1 	
音声拡張スロット	音声対応の Cisco VIC モジュールをサポートする Voice Interface Card (VIC; 音声インターフェイス カード) スロット × 1 (最大 4 つの音声セッションをサポート)	

Cisco Unified Communications 500 シリーズ	8 ユーザおよび 16 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ	24 ユーザ、32 ユーザ、および 48 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ
保留音入力	3.5 mm 音声ポート × 1	
ハードウェア ベースの内蔵暗号化機能	あり	
アナログ電話機ポート	FXS × 4	
PSTN インターフェイス (FXO、BRI、または T1/E1)	BRI ポート × 2 ~ 4 (構成によっては拡張スロットを使用したインターフェイスの増設が可能) 48 ポート版では、内蔵の T1/E1 インターフェイスを使用可能 オプションの 2 ポート FXO インターフェイス カードおよび 4 ポート FXO インターフェイス カード: 全モデルで使用可能 (FXO インターフェイス カードの搭載には拡張スロットを使用) オプションの T1/E1 VWIC インターフェイス カード: 24 ユーザおよび 32 ユーザの UC500 モデルで使用可能 (T1/E1 インターフェイス カードの搭載には拡張スロットを使用)	
管理ポート (最大 115.2 kbps)	1	
ボイスメール ポート	2 ~ 6 ポート (ボイスメールおよび自動応答用)	
導入オプション	デスクトップ、壁面、ラックマウント (ラックマウントにはオプションのラックマウント ブラケットが必要)	48.3 cm (19 インチ) ラックマウント
電力要件		
電源装置	外部	内部
AC 入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
AC 入力周波数	50 ~ 60 Hz	50 ~ 60 Hz
AC 入力電流	4 ~ 2 A (100 ~ 240 V)	3 ~ 1.5 A (100 ~ 240 V)
AC 入力サージ電流	50 ~ 100 A (100 ~ 240 V)	30 ~ 60 A (100 ~ 240 V)
最大インライン配電	80 W	80 W
消費電力: AC (IP Phone をサポートしない場合)	80 W 90 W (外部アダプタを含む)	95 W
消費電力: AC (IP Phone をサポートする場合) — IP Phone	175 W 190 W (外部アダプタを含む)	200 W
環境仕様		
動作環境温度	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)
動作環境湿度	動作時: 10 ~ 85% (結露しないこと)、非動作時: 5 ~ 95% (結露しないこと)	動作時: 10 ~ 85% (結露しないこと)、非動作時: 5 ~ 95% (結露しないこと)
保管環境温度	-20 ~ 65°C (4 ~ 149°F)	-20 ~ 65°C (4 ~ 149°F)
動作環境高度	<ul style="list-style-type: none"> 海面レベル: 40°C (104°F) 1,800 m (6,000 フィート): 31°C (87.8°F) 3,000 m (10,000 フィート): 25°C (77°F) 1,000 フィートにつき 1.5°C (34.7°F) 	<ul style="list-style-type: none"> 海面レベル: 40°C (104°F) 1,800 m (6,000 フィート): 31°C (87.8°F) 3,000 m (10,000 フィート): 25°C (77°F) 1,000 フィートにつき 1.5°C (34.7°F)
寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	6.7 × 26.7 × 28.1 cm (2.63 × 10.5 × 11.05 インチ)	8.9 × 44.5 × 35.6 cm (3.5 × 17.5 × 14 インチ)
電源装置の寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	4.3 × 10.2 × 19.1 cm (1.7 × 4 × 7.5 インチ)	電源装置内蔵
ラックの高さ	1.5 RU (ラックユニット)	2 RU
重量 (最大構成)	3.6 kg (8 ポンド)	6.6 kg (14.5 ポンド)
電源装置の重量	1.4 kg (3 ポンド)	内部
ノイズレベル (最小/最大)	通常動作温度 25.6°C (78°F) 未満: 34 dBA 25.6°C (78°F) 以上 40°C (104°F) 未満: 37 dBA 40°C (104°F) 以上: 42 dBA	通常動作温度 32.2°C (90°F) 未満: 44 dBA 53 dBA (ファン回転数最大時)

Cisco Unified Communications 500 シリーズ	8 ユーザおよび 16 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ	24 ユーザ、32 ユーザ、および 48 ユーザ構成の Cisco Unified Communications 520 シリーズ
適合認定		
安全基準	<ul style="list-style-type: none"> • IEC 60950-1 • AS/NZS 60950.1 • CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 • EN 60950-1 • UL 60950-1 	
耐性	<ul style="list-style-type: none"> • EN 55024 • EN 300-386 • EN 61000-6-2 • EN 50082-1 • EN 55024 (CISPR 24) 	
EMC(電磁適合性)	<ul style="list-style-type: none"> • FCC Part 15, ICES-003 • EN55022, CISPR 22 • AS/NZS • CNS13438 • VCCI V-3 • EN 55024 • EN 300-386 • EN 61000-3-2 • EN 61000-3-3 • EN 50082-1 • EN 55024 (CISPR 24) • EN 61000-4-2 • EN 61000-4-3 • EN 61000-4-4 • EN 61000-4-5 • EN 61000-4-6 • EN 61000-4-8 • EN 61000-4-11 • EN 61000-6-2 	
FIPS-2	<ul style="list-style-type: none"> • 非サポート 	
TELCOM	<ul style="list-style-type: none"> • FXS/DID • TIA-968-A3 • CS-03 Part I • ACIF S002 • ACIF S003 • ANZ PTC200 • ISDN BRI S/T (音声およびデータ BC) • TIA-968-A3 • CS-03 Part VI • TBR3 • ACIF S031 • ANZ PTC200 • MPMHAPT Japan Digital • FXO • TIA-968-A3 • CS-03 Part I • TBR21 • MPMHAPT Japan Analog • ACIF S002 • ACIF S003 • ACIF S004 • ANZ PTC200 • 保留音入インターフェイス • ACIF S038 • ACIF S004 • TIA-464C 	

モジュールのサポート

表 6 に、オープン スロットでサポートされる使用可能なモジュールとインターフェイス カードを示します。

表 6 オープン スロットでサポートされるモジュールおよびインターフェイス カード

モジュール	説明
VIC-4FXS/DID	4 ポート VIC — FXS/DID
VIC2-2FXO	2 ポート VIC — FXO(ユニバーサル)
VIC2-4FXO	4 ポート VIC — FXO(ユニバーサル)
VIC2-2BRI-NT/TE	2 ポート VIC — BRI(NT および TE)
VVIC2-1MFT-T1/E1	1 ポート VVIC — T1/E1(PRI および CAS)

WLAN 仕様

表 7 に、Cisco Unified Communications 500 シリーズの WLAN 仕様を示します。

表 7 WLAN 仕様

機能	説明
WLAN ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> 802.11b/g 802.11b/g の自動レート選択 現場交換可能な外部アンテナ用の RP-TNC コネクタ(拡張カバレッジ用アンテナ オプション) アンテナ ダイバーシティ 屋内レンジ: 97.54 m(320 フィート)で 1 Mbps Wireless Ethernet Compatibility Alliance (WECA) 相互運用性 標準のアンテナ ゲイン: 2.2 dBi
WLAN ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> スループットの最大化またはレンジの最大化オプション ソフトウェアで設定可能な伝送パワー Wireless Multimedia (WMM) 認定 Service Set Identifier (SSID) のグローバル化
WLAN セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 802.1X 802.11e WPA および AES (WPA2) EAP 認証: Cisco LEAP、PEAP、および Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) スタティック WEP とダイナミック WEP Temporal Key Integrity Protocol Simple Security Network (TKIP/SSN) 暗号化 MAC 認証とフィルタ LEAP および EAP-FAST を使用したローカル認証用のユーザ データベース ワイヤレス クライアント数の制限を設定可能 ワイヤレス クライアントの RADIUS アカウンティングを設定可能 PSK(事前共有鍵) Workgroup Bridge Association
SSID および Service Set Identification List (SSIDL)	3
ワイヤレス VLAN	3
暗号化されたワイヤレス VLAN	3
Multiple Basic SSID (MBSSID)	1

各国語対応

Cisco Unified Communications 500 シリーズは、Cisco Unified Communications Manager Express 4.2 および Cisco Unity Express 2.3 で使用できる各国語に対応しています。表 8 に、プラットフォームのサポート言語を示します。

表 8 サポート言語

言語	種類	電話機のプロンプト、パターン、およびネットワーク呼び出し音	ボイスメール プロンプト
日本語		○	○
英語	米国	○	○
ドイツ語		○	○
フランス語	欧州	○	○
スペイン語	欧州	○	○
イタリア語		○	○
ポルトガル語	ブラジル	×	○
スペイン語	中南米	×	○
デンマーク語		○	○
英語	英国	○	○
スペイン語	メキシコ	×	○
フランス語	カナダ	×	○
中国語	北京語	○	○
韓国語		○	○

注: Cisco Unified IP Phone では、その他の言語がサポートされている場合もあります。詳細については、<http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/iptel> を参照してください。

発注情報

小規模企業向けの Cisco Unified Communications 500 シリーズの製品番号を表 9 に示します。

表 9 発注情報

製品番号	説明
UC520W-8U-2BRI-K9	<ul style="list-style-type: none"> 8 ユーザ構成、BRI トランク× 2 (BRI)、アナログ ポート× 4 (FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1 (拡張用)、内蔵アクセスポイント 呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス
UC520W-8U-K9/J	<ul style="list-style-type: none"> 8 ユーザ構成、BRI トランク× 2 (BRI)、アナログ ポート× 4 (FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1 (拡張用)、内蔵アクセスポイント、日本語フロントパネル 呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス
UC520W-16U-2BRI-K9	<ul style="list-style-type: none"> 16 ユーザ構成、BRI トランク× 2 (BRI)、アナログ ポート× 4 (FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1 (拡張用)、内蔵アクセスポイント 呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス <p>注: 8 ポート Cisco Catalyst Express 520 スイッチが必要</p>
UC520W-16U-K9/J	<ul style="list-style-type: none"> 16 ユーザ構成、BRI トランク× 2 (BRI)、アナログ ポート× 4 (FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1 (拡張用)、内蔵アクセスポイント、日本語フロントパネル 呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス <p>注: 8 ポート Cisco Catalyst Express 520 スイッチが必要</p>
UC520-24U-4BRI-K9	<ul style="list-style-type: none"> 24 ユーザ構成、BRI トランク× 4 (BRI)、アナログ ポート× 4 (FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1 (拡張用) 呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス <p>注: 24 ポート Cisco Catalyst Express 520 スイッチが必要</p>

製品番号	説明
UC520-32U-4BRI-K9	<ul style="list-style-type: none">32 ユーザ構成、BRI トランク× 4(BRI)、アナログ ポート× 4(FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1(拡張用)呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone 用のフィーチャ ライセンス 注: 24 ポート Cisco Catalyst Express 520 スイッチが必要
UC520-48U-T/E/B-K9	<ul style="list-style-type: none">48 ユーザ構成、T1/E1 インターフェイス、追加 BRI トランク ポート× 2、アナログ ポート× 4(FXS)、PoE ポート× 8、VIC スロット× 1(拡張用)呼制御、ボイスメール、および Cisco Unified IP Phone のユーザ設定用フィーチャ ライセンス 注: 24 ポート Cisco Catalyst Express 520 スイッチ(× 2)が必要

関連情報

Cisco Unified Communications 500 シリーズの関連情報については、
<http://www.cisco.com/jp/go/uc500/> を参照してください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0704R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先

大協電子通信株式会社

<http://www.daikyo-denshi.co.jp>